

水道局の使命は、安全で良質な水をいつまでもお届けすることです。計画的に事業を進めていくため、令和7(2025)年度から令和16(2034)年度までの10年間の取組をまとめた「第2次札幌水道ビジョン」を策定し、事業に取り組んでいます。



第2次札幌水道ビジョンの特色

本格化する基幹施設の改修・更新への対応

安全・安定給水を引き続き堅持していくため、経年劣化の進む基幹施設の大規模な改修・更新に本格的に取り組んでいくことを示した計画としています。

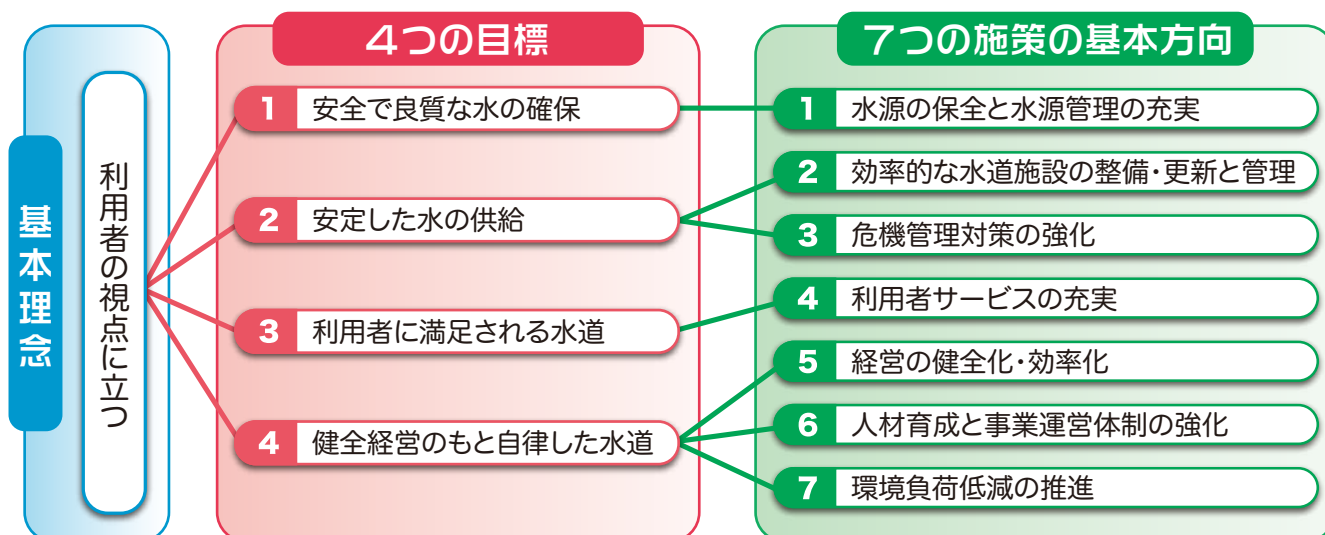
持続可能な事業運営の推進

人口減少をはじめとするさまざまな課題に柔軟に対応するため、幅広い知見とスキルを持つ職員の育成や、デジタル技術の更なる活用による経営の効率化などをより一層意識した計画としています。

脱炭素社会の実現に向けた環境負荷の低減

脱炭素社会の実現を目指す札幌市の水道事業者として、更なる省エネルギー化や再生可能エネルギーの導入など、環境負荷低減の取組を推進していくことを示した計画としています。

水道事業の基本理念と目標



基本理念と4つの目標は、水道事業にとって普遍であり、50年、100年後の札幌水道においても継続して達成することが重要なものとして掲げています。

また、これらの目標を実現するために進めていく施策の基本的な考え方として、7つの施策の基本方向を示しています。



事業の実施計画

第2次札幌水道ビジョンでは、7つの施策の基本方向に沿ってさまざまな取組を進めていきます。ここでは主な取組を紹介します。

1 水源の保全と水源管理の充実

- ヒ素やホウ素などの水質悪化要因を河川から取り除くため、バイパス施設などを整備する「豊平川水道水源水質保全事業」を実施します。
- 水源パトロールや水質自動監視装置により、水源から蛇口までの水質監視を継続的にを行います。

2 効率的な水道施設の整備・更新と管理

- 札幌市最大の浄水場である白川浄水場の大規模改修を行います。
- 白川浄水場でつくられた水を送水する白川第1送水管の更新及び耐震化を行います。
- 配水管の延命化と事業量の平準化を図りながら、計画的な更新や耐震化を行います。



白川新沈砂池の建設



配水管の布設替え

3 危機管理対策の強化

- 定山溪浄水場の耐震化と土砂災害対策を行います。
- 配水池やポンプ場の耐震化を行います。
- 災害対応力を向上させるため、市民や関係団体などと連携し、応急給水体験や訓練等を行います。



応急給水体験

4 利用者サービスの充実

- 小規模貯水槽水道の不適切な管理による水質汚染事故を防ぐため、衛生管理状況の調査を行います。
- スマートメーターの調査研究を行い、モデル地区への試験導入を開始します。

- 各種広報紙やイベント、デジタルコンテンツなどによる広報活動を行います。
- 水道記念館の館内展示物の更新や来館促進の取組を行います。
- きき水体験や給水スポットにより、安全で良質な水道水をPRします。



きき水体験



給水スポット

5 経営の健全化・効率化

- 健全経営を維持するため、企業債残高を適正に管理するとともに、資産の有効活用による収入確保に努めます。
- 水道施設を効率的に整備・管理するため、先進的な工法やデジタル技術などの調査研究を進めます。

6 人材育成と事業運営体制の強化

- 職員の能力や技術力の向上を図るため、研修体制の強化や国際技術協力に取り組みます。
- 道内水道事業体との連携を強化するため、相談窓口の運営や研修会を行います。



配水管接合実習

7 環境負荷低減の推進

- 水道局本局庁舎のZEB化や省エネ性能の高い機器への設備更新などにより、省エネルギー化に取り組みます。
- 水力発電や太陽光発電設備の更なる導入について実施・検討します。